

アセットバック証券オープン (毎月分配型) Cコース/Dコース

運用報告書(全体版)

第169期(決算日2016年4月5日) 第170期(決算日2016年5月6日) 第171期(決算日2016年6月6日)
第172期(決算日2016年7月5日) 第173期(決算日2016年8月5日) 第174期(決算日2016年9月5日)

作成対象期間(2016年3月8日~2016年9月5日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

	Cコース	Dコース
商品分類	追加型投信/海外/債券	
信託期間	2002年3月1日以降、無期限とします。	
運用方針	運用にあたっては、アセットバック証券の独特なリターン特性やリスク特性の分析に基づき、主要な3つのセクター(MBS(Mortgage Backed Securities)、CMBS(Commercial Mortgage Backed Securities)、ABS(Asset Backed Securities))への資産配分、個別投資銘柄選定、デュレーションマネージメントを行い、アクティブに運用することを基本とします。 実質組入外貨建て資産については、原則として米国ドルを用いて為替ヘッジを行います。	
主な投資対象	アセットバック証券オープンCコース/Dコース	アセットバック証券オープンマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。 米国ドル建てのMBS、CMBS、ABSなどの証券、およびこれらを担保として発行される証券を主要投資対象とします。なお、一部米国国債、米国政府機関の発行した債券および米国ドル建て以外のアセットバック証券に投資する場合があります。
主な投資制限	アセットバック証券オープンCコース/Dコース	外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。株式への投資は新株予約権付社債(転換社債)を転換したものに限り、株式への実質投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。
分配方針	アセットバック証券オープンCコース/Dコース	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として利子・配当収入等を中心に安定分配を行います。ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

<Cコース>

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	準 価 額			参 考 指 数	債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分 配	み 金 騰 落	期 中 率				
	円	円	%		%	%	百万円	
145期(2014年4月7日)	9,343	20	△0.3	139.17	△0.6	98.3	—	754
146期(2014年5月7日)	9,379	20	0.6	139.56	0.3	96.2	—	737
147期(2014年6月5日)	9,385	20	0.3	140.10	0.4	97.6	—	730
148期(2014年7月7日)	9,378	20	0.1	139.70	△0.3	97.5	—	725
149期(2014年8月5日)	9,397	20	0.4	140.43	0.5	95.6	—	723
150期(2014年9月5日)	9,399	20	0.2	140.31	△0.1	100.8	—	718
151期(2014年10月6日)	9,369	20	△0.1	140.39	0.1	99.4	—	714
152期(2014年11月5日)	9,415	20	0.7	141.28	0.6	99.3	—	712
153期(2014年12月5日)	9,442	20	0.5	141.87	0.4	103.7	—	707
154期(2015年1月5日)	9,439	20	0.2	141.81	△0.0	97.8	—	704
155期(2015年2月5日)	9,543	20	1.3	144.21	1.7	95.6	—	708
156期(2015年3月5日)	9,429	20	△1.0	142.22	△1.4	96.9	—	697
157期(2015年4月6日)	9,553	20	1.5	144.11	1.3	97.0	—	704
158期(2015年5月7日)	9,401	20	△1.4	142.56	△1.1	97.1	—	687
159期(2015年6月5日)	9,378	20	△0.0	142.39	△0.1	98.7	—	683
160期(2015年7月6日)	9,332	20	△0.3	142.59	0.1	98.3	—	679
161期(2015年8月5日)	9,347	20	0.4	143.10	0.4	96.5	—	677
162期(2015年9月7日)	9,341	20	0.1	144.14	0.7	94.5	—	674
163期(2015年10月5日)	9,412	20	1.0	145.64	1.0	93.6	—	678
164期(2015年11月5日)	9,311	20	△0.9	143.37	△1.6	93.6	—	665
165期(2015年12月7日)	9,247	20	△0.5	142.94	△0.3	94.7	—	656
166期(2016年1月5日)	9,192	20	△0.4	142.92	△0.0	93.0	—	649
167期(2016年2月5日)	9,327	20	1.7	146.35	2.4	93.5	—	652
168期(2016年3月7日)	9,308	20	0.0	145.33	△0.7	95.1	—	638
169期(2016年4月5日)	9,375	20	0.9	146.59	0.9	93.9	—	643
170期(2016年5月6日)	9,390	20	0.4	146.73	0.1	94.2	—	610
171期(2016年6月6日)	9,363	20	△0.1	146.57	△0.1	94.1	—	607
172期(2016年7月5日)	9,432	10	0.8	148.27	1.2	95.0	—	611
173期(2016年8月5日)	9,420	10	△0.0	148.09	△0.1	94.3	—	606
174期(2016年9月5日)	9,373	10	△0.4	146.88	△0.8	98.2	—	588

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

* 参考指数（=BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース））は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（現地通貨ベース）をもとに、当社において円ヘッジおよび円換算したものです。
（出所および許可）バンクオブアメリカ・メリルリンチ、〈出所〉ブルームバーグ

<Cコース>

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	参 考 指 数	騰 落 率	債 券	債 券
						組 入 比 率	先 物 比 率
第169期	(期 首) 2016年3月7日	円 9,308	% —	145.33	% —	% 95.1	% —
	3月末	9,386	0.8	146.27	0.7	95.1	—
	(期 末) 2016年4月5日	9,395	0.9	146.59	0.9	93.9	—
第170期	(期 首) 2016年4月5日	9,375	—	146.59	—	93.9	—
	4月末	9,357	△0.2	145.85	△0.5	96.0	—
	(期 末) 2016年5月6日	9,410	0.4	146.73	0.1	94.2	—
第171期	(期 首) 2016年5月6日	9,390	—	146.73	—	94.2	—
	5月末	9,332	△0.6	145.71	△0.7	97.6	—
	(期 末) 2016年6月6日	9,383	△0.1	146.57	△0.1	94.1	—
第172期	(期 首) 2016年6月6日	9,363	—	146.57	—	94.1	—
	6月末	9,442	0.8	148.14	1.1	94.7	—
	(期 末) 2016年7月5日	9,442	0.8	148.27	1.2	95.0	—
第173期	(期 首) 2016年7月5日	9,432	—	148.27	—	95.0	—
	7月末	9,413	△0.2	147.67	△0.4	97.7	—
	(期 末) 2016年8月5日	9,430	△0.0	148.09	△0.1	94.3	—
第174期	(期 首) 2016年8月5日	9,420	—	148.09	—	94.3	—
	8月末	9,383	△0.4	146.95	△0.8	96.2	—
	(期 末) 2016年9月5日	9,383	△0.4	146.88	△0.8	98.2	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

<Dコース>

○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	準 価 額			参 考 指 数	債 券 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 込 分 配 金	期 騰 落	中 率				
	円	円	%		%	%	百万円	
145期(2014年4月7日)	7,505	15	0.6	133.91	0.4	97.3	—	1,482
146期(2014年5月7日)	7,422	15	△0.9	132.24	△1.2	97.5	—	1,448
147期(2014年6月5日)	7,504	15	1.3	134.15	1.4	97.5	—	1,441
148期(2014年7月7日)	7,469	15	△0.3	133.24	△0.7	97.4	—	1,423
149期(2014年8月5日)	7,517	15	0.8	134.55	1.0	94.6	—	1,415
150期(2014年9月5日)	7,732	15	3.1	138.33	2.8	97.5	—	1,430
151期(2014年10月6日)	8,004	15	3.7	143.86	4.0	94.7	—	1,470
152期(2014年11月5日)	8,334	15	4.3	150.07	4.3	94.6	—	1,520
153期(2014年12月5日)	8,801	15	5.8	158.91	5.9	97.6	—	1,566
154期(2015年1月5日)	8,844	15	0.7	159.58	0.4	97.3	—	1,560
155期(2015年2月5日)	8,727	15	△1.2	158.20	△0.9	97.1	—	1,510
156期(2015年3月5日)	8,811	15	1.1	159.44	0.8	96.3	—	1,508
157期(2015年4月6日)	8,881	15	1.0	160.63	0.7	97.3	—	1,498
158期(2015年5月7日)	8,766	15	△1.1	159.45	△0.7	97.4	—	1,468
159期(2015年6月5日)	9,119	15	4.2	166.18	4.2	95.1	—	1,505
160期(2015年7月6日)	8,944	15	△1.8	163.84	△1.4	96.9	—	1,458
161期(2015年8月5日)	9,094	15	1.8	166.96	1.9	94.5	—	1,458
162期(2015年9月7日)	8,727	15	△3.9	161.14	△3.5	96.5	—	1,388
163期(2015年10月5日)	8,870	15	1.8	164.19	1.9	94.1	—	1,403
164期(2015年11月5日)	8,888	15	0.4	163.72	△0.3	92.2	—	1,402
165期(2015年12月7日)	8,959	15	1.0	165.63	1.2	92.3	—	1,379
166期(2016年1月5日)	8,639	15	△3.4	160.39	△3.2	94.1	—	1,301
167期(2016年2月5日)	8,618	15	△0.1	161.26	0.5	94.4	—	1,300
168期(2016年3月7日)	8,378	15	△2.6	155.74	△3.4	95.6	—	1,249
169期(2016年4月5日)	8,257	15	△1.3	153.48	△1.4	95.4	—	1,227
170期(2016年5月6日)	8,013	15	△2.8	148.80	△3.1	96.6	—	1,185
171期(2016年6月6日)	7,938	15	△0.7	147.59	△0.8	96.6	—	1,160
172期(2016年7月5日)	7,700	15	△2.8	143.62	△2.7	95.9	—	1,125
173期(2016年8月5日)	7,606	15	△1.0	142.04	△1.1	95.8	—	1,106
174期(2016年9月5日)	7,761	15	2.2	144.75	1.9	96.9	—	1,122

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

* 参考指数（=BofA・メルリランチ米国5年国債インデックス（円換算ベース））は、BofA・メルリランチ米国5年国債インデックス（現地通貨ベース）をもとに、当社において円換算したものです。

（出所および許可）バンクオブアメリカ・メルリランチ、（出所）ブルームバーグ

<Dコース>

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準	価 額		参 考	指 数		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率			騰 落 率			
第169期	(期 首) 2016年3月7日	円	8,378	%	155.74	%	—	%	—
	3月末		8,381	0.0	155.46	△0.2	95.3	—	—
	(期 末) 2016年4月5日		8,272	△1.3	153.48	△1.4	95.4	—	—
第170期	(期 首) 2016年4月5日		8,257	—	153.48	—	95.4	—	—
	4月末		8,149	△1.3	151.13	△1.5	96.5	—	—
	(期 末) 2016年5月6日		8,028	△2.8	148.80	△3.1	96.6	—	—
第171期	(期 首) 2016年5月6日		8,013	—	148.80	—	96.6	—	—
	5月末		8,222	2.6	152.73	2.6	96.5	—	—
	(期 末) 2016年6月6日		7,953	△0.7	147.59	△0.8	96.6	—	—
第172期	(期 首) 2016年6月6日		7,938	—	147.59	—	96.6	—	—
	6月末		7,750	△2.4	144.20	△2.3	95.2	—	—
	(期 末) 2016年7月5日		7,715	△2.8	143.62	△2.7	95.9	—	—
第173期	(期 首) 2016年7月5日		7,700	—	143.62	—	95.9	—	—
	7月末		7,833	1.7	146.00	1.7	95.7	—	—
	(期 末) 2016年8月5日		7,621	△1.0	142.04	△1.1	95.8	—	—
第174期	(期 首) 2016年8月5日		7,606	—	142.04	—	95.8	—	—
	8月末		7,721	1.5	143.74	1.2	95.7	—	—
	(期 末) 2016年9月5日		7,776	2.2	144.75	1.9	96.9	—	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

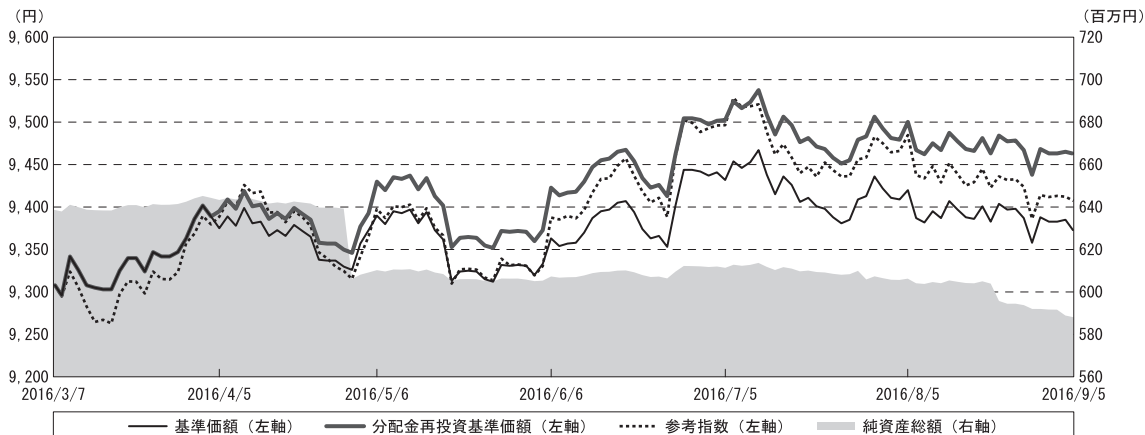
* 債券先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

* 債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

<Cコース>

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第169期首：9,308円

第174期末：9,373円 (既払分配金(税込み):90円)

騰落率：1.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2016年3月7日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス(円ヘッジベース)です。作成期首(2016年3月7日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の9,308円から当作成期末には9,373円となりました。

- ・2016年3月に、FOMC(米連邦公開市場委員会)による政策金利見通しが下方修正されたことなどを背景に、アセットバック証券市場が上昇したこと
- ・2016年4月に、原油を中心に商品価格が上昇し、投資家心理が改善する中で相対的に高格付けの債券が売られたことなどから、アセットバック証券市場が下落したこと
- ・2016年6月に、英国のEU(欧州連合)離脱が決定したことを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、米国債とともに相対的に高格付けのアセットバック証券が買われ、アセットバック証券市場が上昇したこと

<Cコース>

- ・2016年7月に、英国で新首相が就任し、英国のEU離脱をめぐる先行き懸念が和らいで、リスク回避的な姿勢が弱まったことなどを背景に、アセットバック証券市場が下落したこと

○当ファンドのベンチマークとの差異

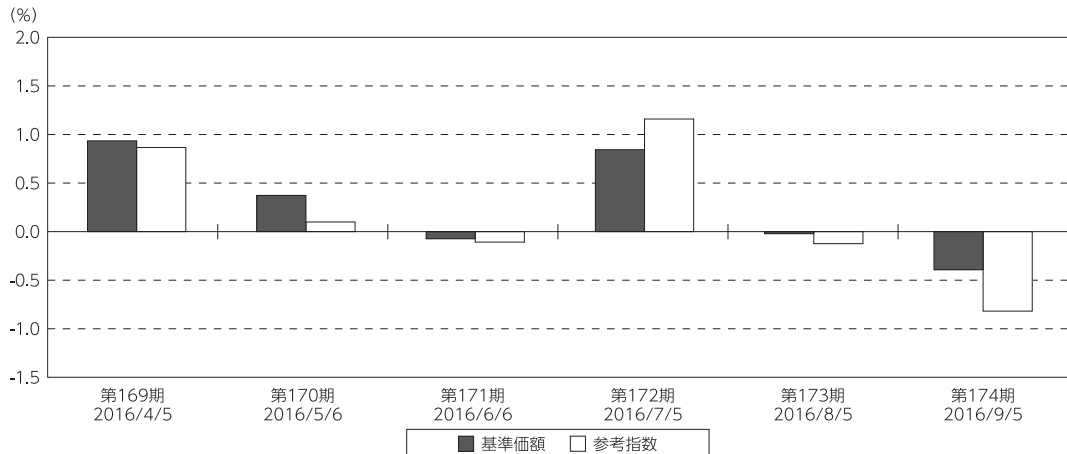
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース）の+1.1%に対し、基準価額※は+1.7%となりました。主な差異の要因は、[アセットバック証券オープンマザーファンド]でアセットバック証券を参考指数より多めに保有したことなどでした。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円ヘッジベース）です。

<Cコース>

◎分配金

収益分配金については、各期の利子・配当収入、諸経費などを勘案して決定しました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
	2016年3月8日～ 2016年4月5日	2016年4月6日～ 2016年5月6日	2016年5月7日～ 2016年6月6日	2016年6月7日～ 2016年7月5日	2016年7月6日～ 2016年8月5日	2016年8月6日～ 2016年9月5日
当期分配金	20	20	20	10	10	10
(対基準価額比率)	0.213%	0.213%	0.213%	0.106%	0.106%	0.107%
当期の収益	20	16	17	10	10	10
当期の収益以外	—	3	2	—	—	—
翌期繰越分配対象額	3,490	3,487	3,485	3,494	3,498	3,505

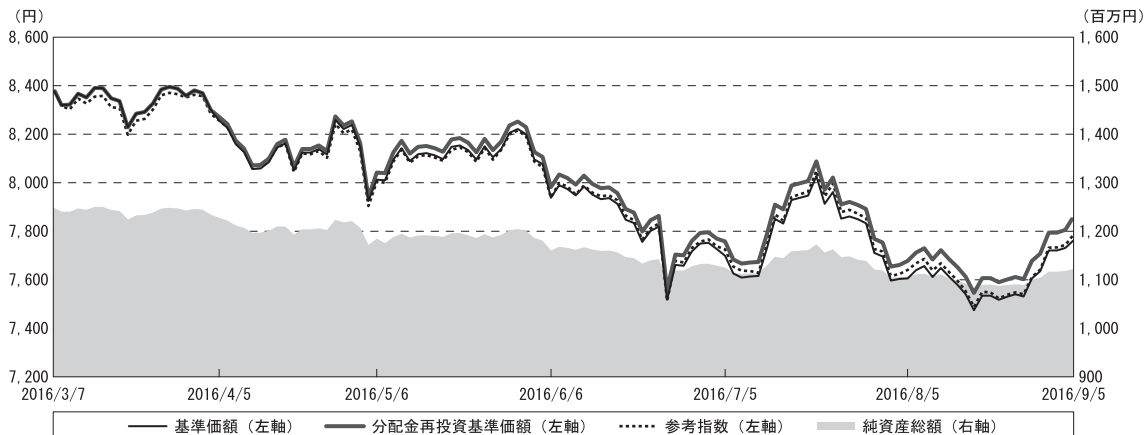
(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Dコース>

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2016年3月7日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）です。作成期首（2016年3月7日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、当作成期首の8,378円から当作成期末には7,761円となりました。

- ・2016年3月に、FOMC（米連邦公開市場委員会）による政策金利見通しが下方修正されたことなどを背景に、アセットバック証券市場が上昇したこと
- ・2016年4月に、原油を中心に商品価格が上昇し、投資家心理が改善する中で相対的に高格付けの債券が売られたことなどから、アセットバック証券市場が下落したこと
- ・2016年6月に、英国のEU（欧州連合）離脱が決定したことを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、米国債とともに相対的に高格付けのアセットバック証券が買われ、アセットバック証券市場が上昇したこと

<Dコース>

- ・2016年7月に、英国で新首相が就任し、英国のEU離脱をめぐる先行き懸念が和らいで、リスク回避的な姿勢が弱まったことなどを背景に、アセットバック証券市場が下落したこと
- ・ドル/円の為替変動

○当ファンドのベンチマークとの差異

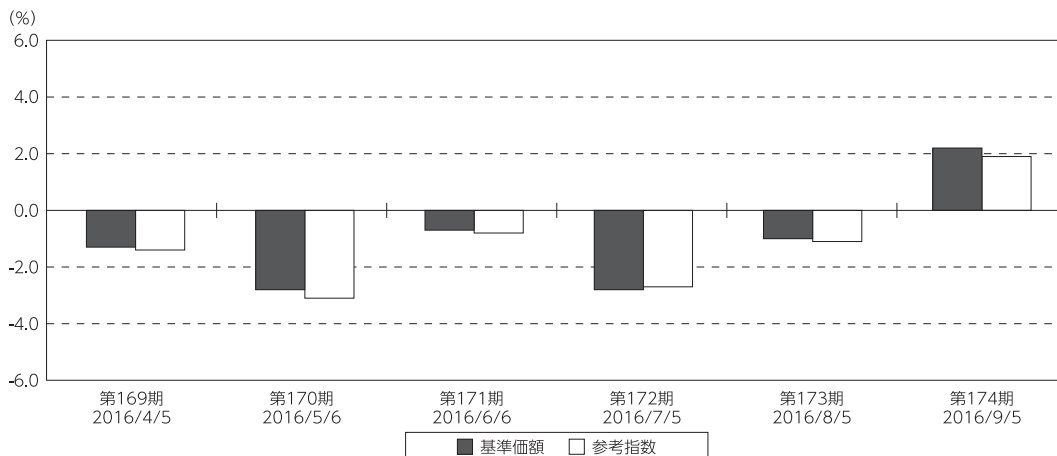
当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）の-7.1%に対し、基準価額※は-6.3%となりました。主な差異の要因は、[アセットバック証券オープンマザーファンド]でアセットバック証券を参考指数より多めに保有したことなどでした。

※基準価額の騰落率は、分配金（税込み）を再投資して算出しております。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）です。

<Dコース>

◎分配金

収益分配金については、各期の利子・配当収入、諸経費などを勘案して決定しました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
	2016年3月8日～ 2016年4月5日	2016年4月6日～ 2016年5月6日	2016年5月7日～ 2016年6月6日	2016年6月7日～ 2016年7月5日	2016年7月6日～ 2016年8月5日	2016年8月6日～ 2016年9月5日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.181%	15 0.187%	15 0.189%	15 0.194%	15 0.197%	15 0.193%
当期の収益	15	10	14	11	10	15
当期の収益以外	—	4	0	3	4	—
翌期繰越分配対象額	1,184	1,180	1,180	1,176	1,172	1,177

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

<Cコース／Dコース>

○投資環境

米国債券市場は、当作成期間では、利回り低下（価格上昇）傾向で推移しました。米国の主要経済指標や米国の企業決算、FRB（米連邦準備制度理事会）の動向などに左右されました。

アセットバック証券市場は、当作成期間では、利回り低下（価格上昇）傾向で推移しました。米国の主要経済指標やFRBの動向、英国のEU離脱問題などに左右されました。

為替市場では、7月の日銀の金融政策決定会合で追加緩和策が打ち出されるとの期待などから、ドル高・円安傾向となる局面もありましたが、英国のEU離脱などを受けて、世界の金融市場でリスク回避的な姿勢が強まったことなどを背景に円が買われ、当作成期間では、ドルに対して円高が進行しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[アセットバック証券オープンCコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを活用し、為替変動リスクを低減させました。

[アセットバック証券オープンDコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行いませんでした。

[アセットバック証券オープンマザーファンド]

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

上記の運用方針のもと、当期間は以下のような運用を行いました。

- ・セクター配分は、MBSやCMBS等のアセットバック証券を中心とした投資を維持しました。
- ・ファンドの平均デュレーションは、市場変動に応じて調整しました。
- ・組入債券の信用格付けについては、保守的なスタンスを継続し、投資適格債中心のポートフォリオを維持しました。

<Cコース／Dコース>

◎今後の運用方針

[アセットバック証券オープンマザーファンド]

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

[アセットバック証券オープンCコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図る方針です。

[アセットバック証券オープンDコース]

主要投資対象である〔アセットバック証券オープンマザーファンド〕受益証券を高位に組み入れ、実質外貨建て資産については為替ヘッジを行わない方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<Cコース>

○1万口当たりの費用明細

(2016年3月8日～2016年9月5日)

項 目	第169期～第174期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 52	% 0.549	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(29)	(0.307)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(20)	(0.215)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	2	0.024	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	54	0.573	
作成期間の平均基準価額は、9,385円です。			

*作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年3月8日～2016年9月5日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第169期～第174期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 26,585	千円 59,900	千口 27,365	千円 61,900

*単位未満は切り捨て。

<Cコース>

○利害関係人との取引状況等

(2016年3月8日～2016年9月5日)

利害関係人との取引状況

<アセットバック証券オープンCコース>

区 分	第169期～第174期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 2,189	百万円 -	% -	百万円 2,201	百万円 6	% 0.3

<アセットバック証券オープンマザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年9月5日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第168期末	第174期末	
	口 数	口 数	評 価 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 267,382	千口 266,602	千円 590,125

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2016年9月5日現在)

項 目	第174期末	
	評 価 額	比 率
アセットバック証券オープンマザーファンド	千円 590,125	% 98.3
コール・ローン等、その他	10,241	1.7
投資信託財産総額	600,366	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*アセットバック証券オープンマザーファンドにおいて、第174期末における外貨建て純資産(1,679,404千円)の投資信託財産総額(1,732,641千円)に対する比率は96.9%です。

*外貨建て資産は、第174期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=103.93円。

<Cコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第169期末	第170期末	第171期末	第172期末	第173期末	第174期末
	2016年4月5日現在	2016年5月6日現在	2016年6月6日現在	2016年7月5日現在	2016年8月5日現在	2016年9月5日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,250,660,374	1,182,198,005	1,173,578,264	1,191,892,582	1,180,083,660	1,167,799,875
コール・ローン等	6,332,007	5,802,883	5,485,763	6,043,348	6,086,113	5,874,962
アセットバック証券オープンマザーファンド(評価額)	626,759,068	588,997,572	585,322,531	599,423,641	590,548,814	590,125,226
未収入金	617,569,299	587,397,550	582,769,970	586,425,593	583,448,733	571,799,687
(B) 負債	607,299,062	571,904,351	566,260,010	580,494,962	573,796,700	579,704,172
未払金	605,366,020	570,011,700	563,835,600	579,312,560	572,487,720	575,567,830
未払収益分配金	1,372,500	1,299,900	1,297,300	648,250	643,600	627,450
未払解約金	—	—	557,580	—	93,810	2,946,845
未払信託報酬	559,457	591,590	568,419	533,108	570,453	560,948
未払利息	—	10	7	9	7	8
その他未払費用	1,085	1,151	1,104	1,035	1,110	1,091
(C) 純資産総額(A-B)	643,361,312	610,293,654	607,318,254	611,397,620	606,286,960	588,095,703
元本	686,250,349	649,950,349	648,650,349	648,250,349	643,600,349	627,450,552
次期繰越損益金	△ 42,889,037	△ 39,656,695	△ 41,332,095	△ 36,852,729	△ 37,313,389	△ 39,354,849
(D) 受益権総口数	686,250,349口	649,950,349口	648,650,349口	648,250,349口	643,600,349口	627,450,552口
1万口当たり基準価額(C/D)	9.375円	9.390円	9.363円	9.432円	9.420円	9.373円

(注) 第169期首元本額は686,250,349円、第169～174期中追加設定元本額は70,203円、第169～174期中一部解約元本額は58,870,000円、1口当たり純資産額は、第169期0.9375円、第170期0.9390円、第171期0.9363円、第172期0.9432円、第173期0.9420円、第174期0.9373円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額2,220,548円。(‘15年10月27日～’16年4月25日、アセットバック証券オープンマザーファンド)

<Cコース>

○損益の状況

項 目	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
	2016年3月8日～ 2016年4月5日	2016年4月6日～ 2016年5月6日	2016年5月7日～ 2016年6月6日	2016年6月7日～ 2016年7月5日	2016年7月6日～ 2016年8月5日	2016年8月6日～ 2016年9月5日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	—	△ 225	△ 286	△ 253	△ 248	△ 238
支払利息	—	△ 225	△ 286	△ 253	△ 248	△ 238
(B) 有価証券売買損益	6,520,205	2,758,793	109,051	5,635,488	488,922	△ 1,832,059
売買益	13,998,002	23,874,304	19,539,483	25,548,888	10,635,554	15,996,370
売買損	△ 7,477,797	△ 21,115,511	△ 19,430,432	△ 19,913,400	△ 10,146,632	△ 17,828,429
(C) 信託報酬等	△ 560,542	△ 592,741	△ 569,523	△ 534,143	△ 582,363	△ 562,039
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	5,959,663	2,165,827	△ 460,758	5,101,092	△ 93,689	△ 2,394,336
(E) 前期繰越損益金	△ 50,724,557	△ 43,599,153	△ 42,644,414	△ 44,374,054	△ 39,622,572	△ 39,298,613
(F) 追加信託差損益金	3,248,357	3,076,531	3,070,377	3,068,483	3,046,472	2,965,550
(配当等相当額)	(27,303,893)	(25,859,622)	(25,807,898)	(25,791,983)	(25,606,973)	(24,985,684)
(売買損益相当額)	(△ 24,055,536)	(△ 22,783,091)	(△ 22,737,521)	(△ 22,723,500)	(△ 22,560,501)	(△ 22,020,134)
(G) 計(D+E+F)	△ 41,516,537	△ 38,356,795	△ 40,034,795	△ 36,204,479	△ 36,669,789	△ 38,727,399
(H) 収益分配金	△ 1,372,500	△ 1,299,900	△ 1,297,300	△ 648,250	△ 643,600	△ 627,450
次期繰越損益金(G+H)	△ 42,889,037	△ 39,656,695	△ 41,332,095	△ 36,852,729	△ 37,313,389	△ 39,354,849
追加信託差損益金	3,248,357	3,076,531	3,070,377	3,068,483	3,046,472	2,965,550
(配当等相当額)	(27,303,893)	(25,859,622)	(25,807,898)	(25,791,983)	(25,606,973)	(24,985,860)
(売買損益相当額)	(△ 24,055,536)	(△ 22,783,091)	(△ 22,737,521)	(△ 22,723,500)	(△ 22,560,501)	(△ 22,020,310)
分配準備積立金	212,198,550	200,837,745	200,247,444	200,758,190	199,539,374	194,944,039
繰越損益金	△258,335,944	△243,570,971	△244,649,916	△240,679,402	△239,899,235	△237,264,438

* 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年3月8日～2016年9月5日)は以下の通りです。

項 目	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
	2016年3月8日～ 2016年4月5日	2016年4月6日～ 2016年5月6日	2016年5月7日～ 2016年6月6日	2016年6月7日～ 2016年7月5日	2016年7月6日～ 2016年8月5日	2016年8月6日～ 2016年9月5日
a. 配当等収益(経費控除後)	2,161,354円	1,065,830円	1,105,367円	1,281,447円	852,573円	1,016,201円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金繰戻後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	27,303,893円	25,859,622円	25,807,898円	25,791,983円	25,606,973円	24,985,860円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	211,409,696円	201,071,815円	200,439,377円	200,124,993円	199,330,401円	194,555,288円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	240,874,943円	227,997,267円	227,352,642円	227,198,423円	225,789,947円	220,557,349円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	3,510円	3,507円	3,505円	3,504円	3,508円	3,515円
g. 分配金	1,372,500円	1,299,900円	1,297,300円	648,250円	643,600円	627,450円
h. 分配金(1万円当たり)	20円	20円	20円	10円	10円	10円

<Cコース>

○分配金のお知らせ

	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
1万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	10円	10円	10円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<Dコース>

○1万口当たりの費用明細

(2016年3月8日～2016年9月5日)

項 目	第169期～第174期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 44	% 0.549	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(25)	(0.307)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(17)	(0.215)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	2	0.022	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.021)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	46	0.571	
作成期間の平均基準価額は、8,009円です。			

*作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2016年3月8日～2016年9月5日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第169期～第174期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 —	千円 —	千口 23,976	千円 53,900

*単位未満は切り捨て。

<Dコース>

○利害関係人との取引状況等

(2016年3月8日～2016年9月5日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年9月5日現在)

親投資信託残高

銘 柄	第168期末		第174期末	
	口 数	口 数	口 数	評 価 額
アセットバック証券オープンマザーファンド	千口 526,143	千口 502,167	千円 1,111,547	

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2016年9月5日現在)

項 目	第174期末	
	評 価 額	比 率
アセットバック証券オープンマザーファンド	千円 1,111,547	% 98.7
コール・ローン等、その他	14,309	1.3
投資信託財産総額	1,125,856	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*アセットバック証券オープンマザーファンドにおいて、第174期末における外貨建て純資産（1,679,404千円）の投資信託財産総額（1,732,641千円）に対する比率は96.9%です。

*外貨建て資産は、第174期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=103.93円。

<Dコース>

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第169期末	第170期末	第171期末	第172期末	第173期末	第174期末
	2016年4月5日現在	2016年5月6日現在	2016年6月6日現在	2016年7月5日現在	2016年8月5日現在	2016年9月5日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	1,231,232,407	1,190,973,171	1,166,446,098	1,128,599,439	1,109,477,398	1,125,856,341
コール・ローン等	11,570,448	11,892,706	11,851,825	11,514,423	11,592,308	10,609,213
アセットバック証券オープンマザーファンド(評価額)	1,215,461,959	1,172,980,465	1,148,694,273	1,114,085,016	1,094,885,090	1,111,547,128
未収入金	4,200,000	6,100,000	5,900,000	3,000,000	3,000,000	3,700,000
(B) 負債	3,316,205	5,964,003	5,925,131	3,194,083	3,248,891	3,202,585
未払収益分配金	2,230,655	2,218,169	2,192,954	2,192,366	2,181,618	2,169,675
未払解約金	—	2,617,330	2,616,064	—	—	—
未払信託報酬	1,083,436	1,126,285	1,113,921	999,749	1,065,183	1,030,884
未払利息	—	20	17	17	15	14
その他未払費用	2,114	2,199	2,175	1,951	2,075	2,012
(C) 純資産総額(A-B)	1,227,916,202	1,185,009,168	1,160,520,967	1,125,405,356	1,106,228,507	1,122,653,756
元本	1,487,103,751	1,478,779,837	1,461,969,837	1,461,577,350	1,454,412,587	1,446,450,394
次期繰越損益金	△ 259,187,549	△ 293,770,669	△ 301,448,870	△ 336,171,994	△ 348,184,080	△ 323,796,638
(D) 受益権総口数	1,487,103,751口	1,478,779,837口	1,461,969,837口	1,461,577,350口	1,454,412,587口	1,446,450,394口
1万口当たり基準価額(C/D)	8.257円	8.013円	7.938円	7.700円	7.606円	7.761円

(注) 第169期首元本額は1,491,303,751円、第169～174期中追加設定元本額は948,829円、第169～174期中一部解約元本額は45,802,186円、1口当たり純資産額は、第169期0.8257円、第170期0.8013円、第171期0.7938円、第172期0.7700円、第173期0.7606円、第174期0.7761円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額2,220,548円。(‘15年10月27日～’16年4月25日、アセットバック証券オープンマザーファンド)

<Dコース>

○損益の状況

項 目	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
	2016年3月8日～ 2016年4月5日	2016年4月6日～ 2016年5月6日	2016年5月7日～ 2016年6月6日	2016年6月7日～ 2016年7月5日	2016年7月6日～ 2016年8月5日	2016年8月6日～ 2016年9月5日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	—	△ 443	△ 571	△ 502	△ 462	△ 463
支払利息	—	△ 443	△ 571	△ 502	△ 462	△ 463
(B) 有価証券売買損益	△ 14,621,669	△ 32,704,482	△ 7,746,829	△ 31,606,255	△ 10,422,979	25,667,984
売買益	22,115	73,998	94,110	2,919	117,608	25,702,116
売買損	△ 14,643,784	△ 32,778,480	△ 7,840,939	△ 31,609,174	△ 10,540,587	△ 34,132
(C) 信託報酬等	△ 1,085,550	△ 1,128,484	△ 1,116,096	△ 1,001,700	△ 1,067,258	△ 1,032,896
(D) 当期繰越損益(A+B+C)	△ 15,707,219	△ 33,833,409	△ 8,863,496	△ 32,608,457	△ 11,490,699	24,634,625
(E) 前期繰越損益金	△142,383,573	△159,369,402	△193,160,718	△204,127,010	△237,698,572	△249,956,067
(F) 追加信託差損益金	△ 98,866,102	△ 98,349,689	△ 97,231,702	△ 97,244,161	△ 96,813,191	△ 96,305,521
(配当等相当額)	(27,366,366)	(27,245,330)	(26,936,190)	(26,953,122)	(26,847,833)	(26,713,143)
(売買損益相当額)	(△126,232,468)	(△125,595,019)	(△124,167,892)	(△124,197,283)	(△123,661,024)	(△123,018,664)
(G) 計(D+E+F)	△256,956,894	△291,552,500	△299,255,916	△333,979,628	△346,002,462	△321,626,963
(H) 収益分配金	△ 2,230,655	△ 2,218,169	△ 2,192,954	△ 2,192,366	△ 2,181,618	△ 2,169,675
次期繰越損益金(G+H)	△259,187,549	△293,770,669	△301,448,870	△336,171,994	△348,184,080	△323,796,638
追加信託差損益金	△ 98,866,102	△ 98,349,689	△ 97,231,702	△ 97,244,161	△ 96,813,191	△ 96,305,521
(配当等相当額)	(27,366,982)	(27,245,907)	(26,936,190)	(26,953,558)	(26,847,855)	(26,713,920)
(売買損益相当額)	(△126,233,084)	(△125,595,596)	(△124,167,892)	(△124,197,719)	(△123,661,046)	(△123,019,441)
分配準備積立金	148,812,242	147,325,003	145,668,659	145,045,627	143,718,717	143,624,771
繰越損益金	△309,133,689	△342,745,983	△349,885,827	△383,973,460	△395,089,606	△371,115,888

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年3月8日～2016年9月5日)は以下の通りです。

項 目	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
	2016年3月8日～ 2016年4月5日	2016年4月6日～ 2016年5月6日	2016年5月7日～ 2016年6月6日	2016年6月7日～ 2016年7月5日	2016年7月6日～ 2016年8月5日	2016年8月6日～ 2016年9月5日
a. 配当等収益(経費控除後)	3,501,391円	1,574,731円	2,172,505円	1,631,144円	1,577,600円	2,857,544円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	27,366,982円	27,245,907円	26,936,190円	26,953,558円	26,847,855円	26,713,920円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	147,541,506円	147,968,441円	145,689,108円	145,606,849円	144,322,735円	142,936,902円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	178,409,879円	176,789,079円	174,797,803円	174,191,551円	172,748,190円	172,508,366円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,199円	1,195円	1,195円	1,191円	1,187円	1,192円
g. 分配金	2,230,655円	2,218,169円	2,192,954円	2,192,366円	2,181,618円	2,169,675円
h. 分配金(1万口当たり)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

<Dコース>

○分配金のお知らせ

	第169期	第170期	第171期	第172期	第173期	第174期
1万口当たり分配金（税込み）	15円	15円	15円	15円	15円	15円

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

○ (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2016年9月5日現在)

<アセットバック証券オープンマザーファンド>

下記は、アセットバック証券オープンマザーファンド全体(768,769千口)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第174期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	88,753	16,018	1,664,832	97.8	0.2	78.6	19.0	0.3
合 計	88,753	16,018	1,664,832	97.8	0.2	78.6	19.0	0.3

* 邦貨換算金額は、第174期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* スタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、フィッチ・レーティングスによる格付けを採用しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		第174期末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	US TREASURY N/B	1.625	920	921	95,727	2026/5/15	
	US TREASURY N/B	1.5	225	223	23,179	2026/8/15	
特殊債券 (除く金融債)	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.086	1,000	1,016	105,679	2019/3/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.13	1,000	1,067	110,912	2021/6/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.716	2,000	2,105	218,778	2022/6/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.389	300	330	34,335	2024/3/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.768	469	493	51,301	2024/4/25	
	FHMS K033 A2	3.06	4,272	4,603	478,412	2023/7/25	
	FHMS K503 A2	2.456	1,000	1,028	106,905	2019/8/25	
	FN AS1317	4.0	1,049	1,136	118,099	2043/12/1	
	GNMA 30YR 589197	6.5	17	20	2,108	2032/8/15	
	GNMA 364408	6.5	4	5	561	2023/11/15	
	SBAP 1998-20F 1	6.3	41	42	4,454	2018/6/1	
	SBAP 97-20E	7.3	1	1	202	2017/5/1	
普通社債券 (含む投資法人債券)	BSARM 04-7 4A	3.266241	25	25	2,657	2034/10/25	
	COMM MORTGAGE TRUST	2.801	500	515	53,540	2047/11/10	
	JP MORGAN CHAS CMRCI IO	0.0648	73,835	293	30,460	2046/12/15	
	JP MORGAN CHASE COMMERC	3.5074	505	545	56,709	2045/5/15	
	JPMCC 2002-CIB4 C	6.45	141	142	14,857	2034/5/12	
	JPMCC 2010-C2 A3	4.0698	400	429	44,603	2043/11/15	
	MORGAN STANLEY BAML TRUS	4.902589	45	51	5,324	2046/11/15	

銘		柄		第174期末				
				利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
						外貨建金額	邦貨換算金額	
			千米ドル	千米ドル	千円			
アメリカ			%	千米ドル				
	普通社債券 (含む投資法人債株)	WORLD FINANCIAL NETWORK	2.55	500	516	53,644	2024/6/17	
		WORLD FINANCIAL NETWORK	2.03	500	503	52,374	2025/4/15	
合		計				1,664,832		

*邦貨換算金額は、第174期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

アセットバック証券オープン マザーファンド

運用報告書

第19期（決算日2016年4月25日）

作成対象期間（2015年4月25日～2016年4月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として米国ドル建てのアセットバック証券に分散投資し、高収益の獲得およびリスクの分散を図ることを目指します。運用にあたっては、アセットバック証券の独特なリターン特性やリスク特性の分析に基づき、主要な3つのセクター（MBS (Mortgage Backed Securities)、CMBS (Commercial Mortgage Backed Securities)、ABS (Asset Backed Securities)) への資産配分、個別投資銘柄選定、デュレーションマネージメントを行い、アクティブに運用することを基本とします。
主な投資対象	米国ドル建てのMBS、CMBS、ABSなどの証券、およびこれらを担保として発行される証券を主要投資対象とします。なお、一部米国国債、米国政府機関の発行した債券および米国ドル建て以外のアセットバック証券に投資する場合があります。
主な投資制限	株式への投資は転換社債を転換したもの等に限る、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の10%未満とします。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	期騰落	中率	期騰落	中率			
	円	%		%	%	%	百万円
15期(2012年4月24日)	14,833	7.8	157.47	7.8	96.7	—	2,719
16期(2013年4月24日)	19,249	29.8	197.62	25.5	98.0	—	2,631
17期(2014年4月24日)	19,700	2.3	199.17	0.8	99.3	—	2,187
18期(2015年4月24日)	24,257	23.1	241.45	21.2	98.3	—	2,164
19期(2016年4月25日)	23,247	△4.2	229.29	△5.0	95.7	—	1,853

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

*参考指数（＝BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース））は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（現地通貨ベース）をもとに、当社において円換算したものです。なお、指数算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の米ドル為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算しております。
（出所、許可）バンクオブアメリカ・メリルリンチ、（出所）ブルームバーグ

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		債組入比率	債券先物比率
	騰落	率	騰落	率		
(期首) 2015年4月24日	円	%		%	%	%
	24,257	—	241.45	—	98.3	—
4月末	24,094	△0.7	239.70	△0.7	98.2	—
5月末	25,012	3.1	248.80	3.0	96.0	—
6月末	24,606	1.4	245.33	1.6	96.9	—
7月末	24,971	2.9	248.93	3.1	95.2	—
8月末	24,478	0.9	244.70	1.3	93.9	—
9月末	24,495	1.0	244.61	1.3	93.5	—
10月末	24,612	1.5	245.11	1.5	92.9	—
11月末	24,964	2.9	247.72	2.6	90.6	—
12月末	24,295	0.2	242.07	0.3	94.8	—
2016年1月末	24,771	2.1	247.56	2.5	92.7	—
2月末	23,565	△2.9	234.51	△2.9	95.5	—
3月末	23,535	△3.0	232.67	△3.6	96.1	—
(期末) 2016年4月25日	円	%		%	%	%
	23,247	△4.2	229.29	△5.0	95.7	—

*騰落率は期首比です。

*債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*債券組入比率の中には売付債券（TBA取引）の比率は含まれておりません。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス(円換算ベース)です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首の24,257円から期末の23,247円になりました。

- ・ 2015年5月に、4月の米非農業部門雇用者数が市場予想並みの増加幅となり労働市場の回復を示したことや、イエレンFRB(米連邦準備制度理事会)議長が年内の利上げ見通しを示したことなどから、アセットバック市場が若干下落したこと
- ・ 2015年7月に、EU(欧州連合)が求める緊縮策受け入れの是非を問うギリシャ国民投票で反対派が賛成派を上回ったことや、FOMC(米連邦公開市場委員会)声明で慎重な利上げ姿勢などが示されたことなどから、アセットバック市場が上昇したこと
- ・ 2015年9月に、中国景気の減速懸念が高まり、世界経済への影響が不安視されたことや、米利上げが見送られ、米金融政策や世界景気に対する先行き不透明感が高まったことなどを背景に、アセットバック市場が上昇したこと
- ・ 2015年11月に、イエレンFRB議長が議会証言において、年内利上げの可能性に言及したことや、10月の米雇用統計における非農業部門雇用者数が市場予想を上回り、FRBが年内に政策金利を引き上げるとの懸念が高まったことなどを背景に、アセットバック市場が下落したこと
- ・ 2016年1月に、中国の景気減速懸念や、世界的な株安などを背景に、相対的に高格付の債券が選好され、アセットバック市場が上昇したこと
- ・ 期を通して、保有したアセットバック証券などからのインカムゲイン(利息・配当収入)を得たこと
- ・ ドル/円の為替変動

○当ファンドのポートフォリオ

- (1) 米国のアセットバック証券（MBS、CMBS、ABSなど）を主要投資対象とし、更に米国国債や政府機関債を加えた分散ポートフォリオを基本に運用を行います。
- (2) 市場の変動や各セクター間・銘柄間の相対価値の違いなどに応じて、上記債券セクターの比率変更、投資銘柄の選定、ファンドのデュレーションの調整などを行い、収益の拡大に努めます。

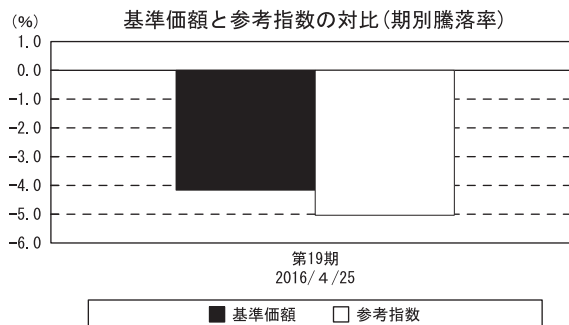
上記の運用方針のもと、当期間は以下のような運用を行いました。

- ・セクター配分は、MBSやCMBS等のアセットバック証券を中心とした投資を維持しました。
- ・ファンドの平均デュレーションは、市場変動に応じて調整しました。
- ・組入債券の信用格付けについては、保守的なスタンスを継続し、投資適格債中心のポートフォリオを維持しました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数としているBofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）が-5.0%となったのに対し、基準価額は-4.2%となりました。主な差異の要因としては、高位に組み入れたアセットバック証券の価格が上昇したことなどでした。



(注) 参考指数は、BofA・メリルリンチ米国5年国債インデックス（円換算ベース）です。

○今後の運用方針

引き続き、アセットバック証券を中心に国債・政府機関債を加えたポートフォリオを基本とした運用を行う予定です。デュレーションについては市場の変動に応じて調整していく方針です。

投資するアセットバック証券各セクターの運用方針は以下の通りです。

- ①MBSは、当面は現状程度の組入比率を維持しながら、スプレッドの変化に応じて組入比率を調整していく予定です。
- ②CMBSは、同程度の格付けを持つ国債や社債と比べ、高い利回りを有しています。ファンドにおいては現状程度の組入比率を維持しながら、高水準のインカムを享受していく方針です。
- ③ABSは、クレジット環境を注視しながら、短期部分で機動的に組入れる可能性があります。

○1万口当たりの費用明細

(2015年4月25日～2016年4月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 12	% 0.051	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(12)	(0.050)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	12	0.051	
期中の平均基準価額は、24,449円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年4月25日～2016年4月25日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
			千米ドル	千米ドル
外	アメリカ	国債証券	8,438	8,282
		特殊債券	2,376	1,743 (243)
国		社債券（投資法人債券を含む）	1,588	3,800 (112)

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年4月25日～2016年4月25日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		百万円	%		百万円	%
為替直物取引	10	—	—	266	75	28.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2016年4月25日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	88,757	15,911	1,772,752	95.7	1.4	80.6	15.1	0.0
合 計	88,757	15,911	1,772,752	95.7	1.4	80.6	15.1	0.0

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* スタンダード・アンド・プアーズ、ムーディーズ・インベスターズ・サービス、フィッチ・レーティングスによる格付けを採用しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	US TREASURY N/B	1.625	600	585	65,279	2026/2/15	
特殊債券 (除く金融債)	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.086	1,400	1,424	158,712	2019/3/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.716	2,000	2,090	232,936	2022/6/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.389	300	324	36,097	2024/3/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	2.768	475	496	55,318	2024/4/25	
	FHLMC MULTIFAMILY STRUCT	3.13	1,000	1,063	118,484	2047/8/25	
	FHMS K033 A2	3.06	4,272	4,525	504,173	2023/7/25	
	FHMS K503 A2	2.456	1,000	1,026	114,396	2019/8/25	
	FN AS1317	4.0	1,118	1,200	133,744	2043/12/1	
	GNMA 30YR 589197	6.5	17	20	2,266	2032/8/15	
	GNMA 364408	6.5	10	12	1,372	2023/11/15	
	SBAP 1998-20F 1	6.3	53	55	6,224	2018/6/1	
	SBAP 97-20E	7.3	2	2	327	2017/5/1	
	普通社債券 (含む投資法人債券)	BSARM 04-7 4A	2.859686	36	36	4,053	2034/10/25
COMM MORTGAGE TRUST		2.801	500	513	57,193	2047/11/10	
JP MORGAN CHAS CMMRCI IO		0.0648	73,835	302	33,743	2046/12/15	
JP MORGAN CHASE COMMERC		3.5074	505	537	59,886	2045/5/15	
JPMCC 2002-CIB4 C		6.45	185	188	21,009	2034/5/12	
JPMCC 2010-C2 A3		4.0698	400	426	47,510	2043/11/15	
MORGAN STANLEY BAML TRUS		4.903079	45	48	5,384	2046/11/15	
MSBAM 2014-C18 A2		3.194	500	519	57,899	2047/10/15	
WORLD FINANCIAL NETWORK		2.55	500	509	56,736	2024/6/17	
合 計				1,772,752			

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2016年4月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	1,772,752	95.7
コール・ローン等、その他	80,425	4.3
投資信託財産総額	1,853,177	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（1,814,584千円）の投資信託財産総額（1,853,177千円）に対する比率は97.9%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=111.41円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年4月25日現在)

○損益の状況 (2015年4月25日～2016年4月25日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,853,177,659
コール・ローン等	72,651,165
公社債(評価額)	1,772,752,841
未収入金	793,191
未取利息	6,929,730
前払費用	50,732
(B) 負債	81
未払利息	81
(C) 純資産総額(A-B)	1,853,177,578
元本	797,167,821
次期繰越損益金	1,056,009,757
(D) 受益権総口数	797,167,821口
1万口当たり基準価額(C/D)	23,247円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	61,250,204
受取利息	59,253,928
その他収益金	1,996,991
支払利息	△ 715
(B) 有価証券売買損益	△ 136,509,904
売買益	18,694,704
売買損	△ 155,204,608
(C) 保管費用等	△ 1,041,873
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 76,301,573
(E) 前期繰越損益金	1,272,400,755
(F) 追加信託差損益金	43,567,597
(G) 解約差損益金	△ 183,657,022
(H) 計(D+E+F+G)	1,056,009,757
次期繰越損益金(H)	1,056,009,757

(注) 期首元本額は892,478,396円、期中追加設定元本額は31,532,403円、期中一部解約元本額は126,842,978円、1口当たり純資産額は2,3247円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額
 ・アセットバック証券オープンDコース 521,707,012円
 ・アセットバック証券オープンCコース 275,460,809円

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

該当事項はございません。